

ウェルおおさか

vol.115 2018.8 隔月発行(偶数月1日)

特集

だいじょうぶや、相談したらええねん! ～我が事・丸ごと地域共生社会へ～

- 福祉の歴史散歩：社会福祉思想の先導者・大塩平八郎
ー森鷗外歴史小説『大塩平八郎』の言説に関連してー①
- 図書・資料閲覧室からのお知らせ ●講座案内





だいじょうぶや、相談したらええねん! ～我が事・丸ごと地域共生社会へ～

人生にはさまざまな「困りごと」があります。介護、子育て、障がい、病気やケガをはじめ、住まい、就労、家計、教育、近隣の関係など「困りごと」は尽きません。いくつもの「困りごと」を同時に抱えるときは、特に大変です。そんな時、近くに「だいじょうぶや、相談したらええねん!」と手を差し伸べてくれる人がいたら。そして困りごとが解決するような方向へともに歩いてくれたら、ずいぶん気持ちになるのではないのでしょうか?今回は、複合的な課題を「丸ごと」、「我が事」として受けとめ、解決につなげていく地域社会のありかたについて、地域活動や行政の取り組みを通じて考えてみたいと思います。

困りごととは ひとつじゃない

私たちの周りには、複数の課題を抱えて生活している人たちがたくさんいます。最近、話題になっている高齢の親と働いていない独身の50代の子が同居している世帯(「8050」問題)や介護と育児に同時に直面する世帯(「ダブルケア」)もその一例です。また、精神疾患やがん、難病などを抱えた方、いわゆる『ごみ屋敷』住人なども、地域生活を送る上で、福祉・医療・保健・就労などさまざまな分野の支援が必要となるでしょう。この状況は、決して特別なことではありません。家族全員がそれぞれ課題を抱えていたり、さまざまな課題がいくつも同時に重なったりすることは、誰にでも起こりうるのではないのでしょうか。

ひとりで抱え込み、 誰にも相談できない

これまでは、高齢者なら高齢者、障がい者なら障がい者と、各施策分野の対象者ごとに分かれた相談窓口へ行き、公的支援制度を利用し、専門的なサービスに支えられながら暮らしていくことができました。しかし、複数の課題が絡み合い、複雑化、多様化、深刻化した場合には、従来の分野別、年齢別の「縦割り」支援だけでは立ち行かなくなってきたのです。

かつては家族や親戚、隣近所の関係によって支えられ「困りごと」が解決するこ

ともありました。しかし、人間関係が希薄になっている現在では、ひとりで抱え込み、誰にも相談できず解決の糸口すら見つからない状況になっている人や世帯も少なくありません。

「つながり」の中で 「丸ごと」受けとめる

今、厚生労働省は『我が事・丸ごと』地域共生社会の構築に取り組んでいます。「我が事・丸ごと」地域共生社会とは、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をとくに創っていく社会のことをいいます。

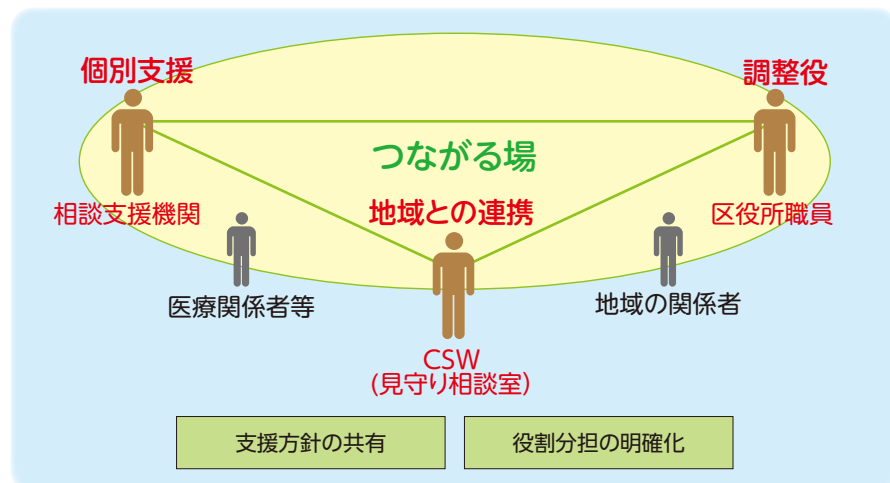
その第一段階として、本人「丸ごと」、

世帯「丸ごと」の生活課題を把握し、解決していくことができる包括的な相談支援体制を構築しようとしています。これは、行政の力だけではなく、専門の相談支援機関や地域住民が一つになって、はじめて実現できるものです。

大阪市においては、すでに各地域において、様々な「我が事」の取り組みが行われてきました。これらの取り組みに加え、平成29年度からは、「総合的な支援調整の場(つながる場)」というしくみにより、様々な課題を抱えた方を「丸ごと」支えることを目指すモデル事業が開始されました。

生活の拠点である地域において、困りごとを抱えた人たちをどのようにサポートするのか、大阪市における「我が事」「丸ごと」の取り組みを次にみていきます。

●「総合的な支援調整の場(つながる場)」のイメージ ～大阪市総合的な相談支援体制の充実モデル事業の取り組み～





我が事・丸ごと 地域活動編

近くにいるのが地域の強み

■山之内スマイル協議会(住吉区)

設立／平成24年

活動場所／「和(やわらぎ)会館」

4名の支援相談員が交代で常駐。住民の相談に「丸ごと」対応、行政や専門職との橋渡しや見守り情報の収集・発信。見守り台帳や訪問カードを管理・共有し、緊急事態も対応。見守り活動のほか、ふれあい喫茶、いきいきフレンドサロン、子ども食堂ほか幅広い分野で活動。

ボランティア／50名が活動。30代も活躍。

近所のつながり 「見守り活動」

山之内スマイル協議会では、高齢者の孤立を防ぐため、現在、50名を超えるボランティアがそれぞれの自宅を拠点に見守り活動をしています。見守り台帳は「区が本人に了承を得て作成した台帳と、4年前から活動を通じて独自に集めたリストをドッキングしたもの」、その分厚さや膨大な付箋の数から「一人も孤立させてはいけない」という信念が伝わってきます。

「見守りの時は、“近所のおばちゃん”に徹しています。ひと目で見守り活動と分かるような恰好はひかえています。バインダーを持参したり、聴いたことをメモしたりするのも不自然なのでしていません。相手の話を丸ごと聞いて、自宅に帰ってから訪問カードに気づいたことを記録するようにしています」

このほか、見守りボランティア同士が道端で不用意に訪問した人のことを話したりしないよう気をつけるなど、課題を抱えている人がSOSを発しやすくするための配慮が隅々まで行き届いています。

月1回の会議を重ね、 「我が事」に

月1回、地域の拠点「和(やわらぎ)会館」で行われる会議では、見守りボラン

ティアが日頃の活動を発表します。人数が多いので朝と昼、各1回の1日がかかります。この会議に出席するのは、社協(社会福祉協議会)、地域包括支援センター、区役所(地域課、保健福祉課)、見守り相談室(CSW)、ランチ(総合相談窓口)、社会福祉施設の担当者など。立場を超えた地域支援に関わるフルメンバーが揃っているのも、課題をその場で支援につなぐこともできます。

会議を重ねるうちに、事例が「我が事」化。「発表の時、名前を言うと『ああ、あのね』と思い出し、みな会ったこともないのに、心配したり、ほっとしたり。いつのまにか他人事ではなくなっています。一人の課題を行政や福祉関係者、地域みんなで共有し、解決に向かって進んでいるのだという実感が活動のやりがいとなっています」

「ボランティアを見守る」 支援相談員

地域の最前線で住民の見守りを行うボランティア、想いが強く、つい活動に無理が生じてしまうこともあります。そこで「一人最大5名まで」と見守り人数の上限を設定。その人のやる気や生活状況などから総合的に判断して、無理ないように進めてもらいます。また、月1回の会議は月末に開催し、ボランティアが疑問や不安を抱え込まないように、月の半ばに、会



山之内スマイル協議会
女性部長 和田 勲子さん

館に常駐する支援相談員が「困りごとないですか?」と電話を入れています。

活動を通じてボランティアの意識も変化しています。

「まちを歩いている人の見方が変わった」「地域の人と関わっていいことがわかった」、中には「気になる人がいるんですけど、見守っていいですか」と自発的に見守りを申し出る人もいます。「見守る人」も「見守られる人」も同じ住民なので、「見守っていた人」が元気になり、地域の行事を手伝っている姿をみたりすることも活動の喜びにつながっています。

「身近なところで見守れて、住民という同じ立場で共感できるので『我が事』にしやすいのが地域の強み。山之内が一つになり、少しずつ世代交代しながら、ずっと安心して住み続けられる、みんなのふるさとになればいいなと願っています」





我が事・丸ごと 自治体編

「縦割り」から「丸ごと」へ

■大阪市▶「つながる場」をモデル3区で実施中



大阪市福祉局生活福祉部地域福祉課
担当係長 佐ノ木 剛さん

一つの相談支援機関だけでは解決できない複合的な課題を抱えた方を支援するためには、地域・相談支援機関・行政が各々の強みを活かし連携する包括的な相談支援体制が不可欠となります。

平成27年度に市内に293ヶ所ある相談支援機関の実態調査を行ったところ、「他分野の機関の役割等が分かりにくい」「連携のための調整役や場がない」など、様々な課題が明らかになりました。これを踏まえ、平成29年度より区保健福祉センターが中心となり、施策横断的な連携のしくみづくりに取り組むモデル事業を3区(福島区・東淀川区・平野区)で実施しています。

モデル事業では、複合的な課題を抱えた方を支援するため、相談支援機関等からの要請により、区が「調整役」となっており、相談支援機関や地域関係者が一堂に会する「総合的な支援調整の場(つながる場)」を開催。スーパーバイザー(学

識経験者、相談支援の専門家、弁護士等)の助言を受けながら、関係者が支援方針や役割分担を共有することにより、包括的な相談支援体制を構築します。

「事業の肝となるのは、自らSOSを発することができない方をいかに適切な支援につなげることができるか。『見守り相談室』のCSWを通じた地域との連携が不可欠です」

昨年度1年間で受け付けた相談は3区で計235件、このうち他機関へつながったのが99件、支援困難なケースとして73件で「つながる場」を開催し、適切な支援につなげることができました。

今後、モデル事業の効果等を検証し、各区に取組みを広げていく予定です。

■東淀川区(モデル区 平成29年度～)▶『区役所「丸ごと」支援します』



東淀川区役所保健福祉課
生活困窮者相談グループ
担当係長 上井 聖子さん

モデル3区の中で、相談支援機関から区役所への相談件数が最も多い東淀川区。高齢・障がい・子どもなど、各分野の相談支援機関、区役所各部署の職員等が集まり、スーパーバイザーの助言を受けながら、支援方針を検討する「つながる場」を月

5回程度、開催しています。具体的には、統合失調症の治療を中断した50代の子と認知症の親、ひきこもり状態の40代の子と要介護の親、病識がなく受診やサービスを拒否される方、いわゆる『ごみ屋敷』の住民などの事例について、多職種の支援者が一堂に会して、意見を交換することで、よりよい支援につなげてきました。

この背景には、モデル事業に先駆けて、平成28年に発足した「生活困窮者サポートネット連絡会(困サポ)」を通じて、専門分野を超えた「顔の見える関係づくり」等を進めてきたことにより、適切な支援ができる体制の基盤が整っていたことの影響が大きいと実感しています。

区役所としては、相談支援機関、地域関係者、職員を対象とした「研修会」の開催、相談支援機関の機能・役割等の情報

を集約した「相談(支援)機関ファイル」を作製して、相談支援機関や区役所各担当で活用してもらいながら、意識改革やスキルアップにも取り組んでいます。これにより、各職員が、さまざまな分野の支援機関を把握できていて、そのため、窓口で相談を受けたときに、自担当の課題でなくても、適切な支援機関につなぐことや困りごとに気付いて、積極的に支援することができる状態をめざしています。

モデル事業を進める原動力は、相談を受けた支援者が、その世帯の状況を『少しでもよくしたい』という想いだと思います。

さまざまな相談支援機関の方々にも協力いただきながら、いろんな方の困りごとの解決のお手伝いができるよう、一層の努力をしています。



「我が事」意識の醸成が 地域を成長させる

大阪保健医療大学
客員教授 **橋本 卓也**さん



なぜ、課題が 埋もれてしまうのか?

近年、既存の制度・支援機関のみの対応では、解決に至らない複合的な課題を抱えたケースが増えています。特に、要介護高齢者と障がいのある子どもが同居する世帯が多く、そこから派生した虐待、暴力、ひきこもり、生活困窮、セルフ・ネグレクトなどを複合的に抱えているケースが見られます。

課題が深刻化していく人や家族に共通するのは「社会的孤立」です。近隣との接点がないため、課題が埋もれたまま時間が経過し、個人や家族では抱えきれなくなってしまうたり、何らかの行為が住民とのトラブルに発展したりすることで初めて外部に露呈することになります。

課題が埋もれてしまう背景には、「障がい」と「高齢者」のような公的支援の「縦割り」や連携のしづらさ、住民同士が支え合う地域ネットワーク

の脆弱さ、関わる社会資源の乏しさ、「面倒なことに関わりたくない」という個人の無関心、そして、本人や家族が課題を家族ですべて解決しようとするいわゆる「囲い込み」などが考えられます。

個人だけではなく 「世帯・地域丸ごと」を見る

このような問題を解消し、課題の早期発見・解決につなげるために、大阪市は、モデル事業として行政、専門的な相談支援機関、地域住民の3者が一堂に集まる「つながる場」を設け、包括的な相談支援体制を構築しています(P.3参照)。地域から上がってきた複合的な課題に対し、分野を超えた横断的な視点から「支援方針」を決定し、継続してモニタリングしながら、必要に応じて社会資源の開発等を進めています。

課題解決へ向けては、最初に、緊急性の高いケース、ニーズの見極めと介入を行うこと。アプローチの視点としては、個人だけではなく「世帯・地域丸ごと」に焦点をあて、行政、社協、地域等の役割を明確化、また、いわゆる『ごみ屋敷』などセルフ・ネグレクトにありがちな「接近困難」のケースでは、あらゆる方法を使って、本人との接点を見出す努力をすることが重要です。

「困難な事例」こそが 地域を育てる

国が掲げる「我が事・丸ごと」地域共生社会とは、「誰もが排除されることなく安心して地域で質の高い生活が実現できる地域社会」のことだと考えています。そのためには、課題の複雑化、多様化、深刻化を防ぎ、予防的に対応・介入できる地域社会の構築、そして特定の「個人」「家族」「団体」等を排除せず、お互いを支え合っていける地域社会であることが前提です。当然、福祉教育の機会を提供することも必要となってきます。

地域社会を構築するうえで、キーパーソンとなるのは、区社協のCSW。地域の福祉課題に関する相談・支援はもちろんのこと、行政や関係機関との連携、地域住民と協働しての課題解決や支援などの役割があります。たとえ、困難な課題であっても、CSWの専門的な観点から、粘り強く住民とともに取組みを重ねていくことが求められます。

理想の共生社会を実現するには、時間がかかるかもしれません。しかし、一つひとつの課題をテーブルにのせ、「我が事」として真摯に向き合うこと、また、課題が難しいケースへの取り組み・支援を通して地域の福祉力は高まり、成長していくことはまちがいありません。



講座案内

●市民向け講座 市内在住、在勤、在学の方

講座名	日 時	受講決定	講 師	内 容	その他
【介護実習講座】	介護実習講座 入門コース	①8月17日(金) ②8月24日(金) ③8月31日(金) いずれも 10:00~12:30	開講日の約1週間前 に受講証をお送りし ます 専門学校講師、訪問指 導員など	初めて介護をされる方に、家庭での介護の 知識や技術をご体験いただき、介護への関 心や理解を深めるコースです。	定員:各テーマ20人 (先着順) 希望される方は、お 問合せください 受講料:500円 (資料代) 受講当日に現金で 申し受けます
	ステップアップ(応用) テーマ別コース	①9月8日(土) ②9月11日(火) ③9月19日(水) ④9月22日(土) ⑤9月25日(火) いずれも 10:00~13:00		入門コースを修了された方がテーマごとに 介護の知識・技術を深めるためのコースで す。受講するテーマは複数選択できます。 ①移動 ④食事介助 ②衣服交換・シーツ交換 ⑤口腔ケア ③排泄	定員:各テーマ20人 (先着順) 希望される方は、お 問合せください 受講料:100円 (資料代) 受講当日に現金で 申し受けます

◆市民向け講座の申込み方法◆

ハガキ・FAX・メールに次の必要事項を記入して、お申し込みください(当センターホームページや電話での申込みも受け付けます)

〔必要事項〕①講座名 ②名前(ふりがな) ③郵便番号・住所 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥大阪市在住でない場合は、勤務先または学校名と所在地
介護実習講座を申込みの方は⑦介護経験の有無(有の人は年数も記入)

●福祉従事者向け研修 申し込み多数の場合は抽選です。締め切り後に、事業所あてに決定通知を送付します。

研修名	日 時	受講対象者	講 師	内 容	その他
【メンタルヘルス研修】 主任・ リーダー職員対象	9月18日(火)・ 19日(水) 10:00~16:30	市内の福祉関係係 施設・事業所に勤務す る職員	女性ライフサイクル研 究所フェリアン 副所長 津村 薫	職場の要である主任・リーダー職員として、 ストレスマネジメントを学び、自身のメンタ ルヘルスだけでなく、部下へのメンタルサ ポートの知識と技術を修得し、良質なサー ビスを提供できるチームづくりを目指す。	定員:50人 締切:8月24日(金) 受講料:6,000円
【リスクマネジメント研修】 クレーム対応技術	10月25日(木) 10:00~16:30		大阪保健医療大学 客員教授 橋本 卓也	事業者と利用者の信頼関係を構築するた め、クレーム対応の知識と技術を身に付け、 適切に解決していく方法を習得する。	定員:50人 締切:9月21日(金) 受講料:3,000円
【福祉人材確保】 求人・広報力向上研修	9月13日(木) 10:00~12:00		城南女子短期大学 人間福祉学科 学科長 前田 崇博	福祉への就職を希望する人に対して、効果 的な求人情報の提供や発信の方法につい て学ぶ。	定員:40人 締切:9月5日(水) 受講料:無料
	福祉人材受入・ 定着支援研修			新たに入職した新任スタッフがスムーズに 業務に就き、サービス提供できるよう、職場 や事業所としての支援策を学ぶ。	定員:40人 締切:9月5日(水) 受講料:無料
【認知症介護研修】 第3回 認知症介護 実践者研修	①9月27日(木) ②9月28日(金) ③10月4日(木) ④10月5日(金) ⑤10月11日(木) ⑥10月12日(金) ⑦11月20日(火)	大阪市の介護保険 施設・指定居宅サー ビス事業所または、 地域密着型サービ ス等において現に認 知症介護業務に従 事している職員	大阪市 認知症介護指導者	施設、在宅にかかわらず、認知症の原因疾 患や容態に応じ、本人やその家族の生活の 質の向上を図る対応や技術を修得する	定員:72人 締切:8月20日(月) 受講料:30,000円+ 研修用テキスト 3,300円(税込)

※日程及び締切日は、主催者の都合で変更する場合があります。

◆福祉従事者向け研修の申込み方法◆当センターのホームページから申込み、申込用紙をダウンロードしてFAXでお申込みください

上記の会場・申込・問合せ先

大阪市社会福祉研修・情報センター 〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

☎06-4392-8201 FAX06-4392-8272 Ⓔhttp://www.wel-osaka.jp ✉kensyu@shakyo-osaka.jp

福祉の職場紹介

一緒に
働きませんか?



このコーナーでは、福祉のお仕事に興味を持っている人に向けて、実際に福祉事業所で働いている人による「お仕事紹介」の記事を掲載していきます。福祉に携わる「なかま」を増やしていきましょう! 現在、記事を掲載していただける事業所を募集しています。詳しくは、下記までご連絡ください。

大阪市社会福祉研修・情報センター 企画研修担当

〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

☎06-4392-8201 FAX06-4392-8272 ✉kensyu@shakyo-osaka.jp



大阪市立総合医療センター 市民医学講座

知っ得! なっ得! 医学情報

9月8日(土)午後2時～午後4時

内 容

〈第1部〉

- 味と匂いのよもやま話～おいしく食べるために～
- 難聴・めまい～「生活の質」を向上するために～

〈第2部〉

- かゆみ治療最前線
～じんましん・アトピー性皮膚炎の最新治療～
- 皮膚がんについて～ほくろとがんの違いは?～

場 所／大阪市立総合医療センターさくらホール
大阪市都島区都島本通2-13-22

定 員／250名(先着順)

こどものひきつけ2018

～けいれんの救急対応～

9月9日(日)午後1時～午後3時15分

内 容

〈第1部〉てんかんを学ぼう

～今回のトピックはけいれんの救急対応～

- てんかんの基本的な知識
- けいれんの救急対応～家で、学校で、旅先で、職場で～
- 日本てんかん協会からのご案内

〈第2部〉てんかんを闘病した経験から

- てんかんと向き合う子どもとともに
- てんかんと向き合った経験から
- 小児神経内科の主治医として
- 小児脳神経外科の担当医として



場 所／大阪市立総合医療センターさくらホール
大阪市都島区都島本通2-13-22

定 員／200名(先着順)

事前申込不要

問合せ先／大阪市立総合医療センター 地域医療連携センター(担当:金山)

受講無料

☎06-6929-1221 FAX06-6929-0886(平日:午前8時45分～午後5時15分)

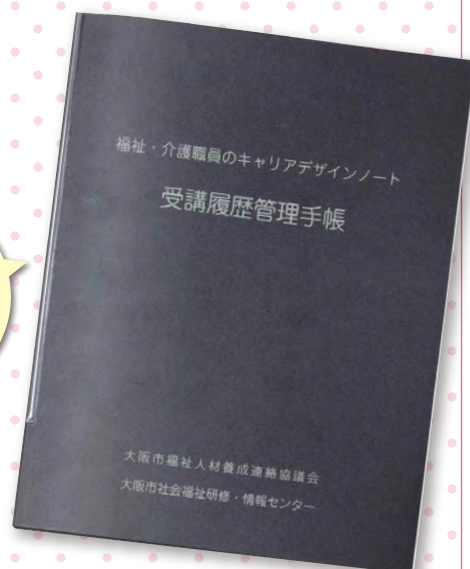
福祉・介護専門職の キャリアアップをサポート!

福祉・介護職員の キャリアデザインノート 受講履歴管理手帳

定価 600円(税込)



これ1冊に
受講履歴を
ファイリング。
修了書や研修資料を
まとめて
保存できます!



福祉援助職として、プロフェッショナルの力を高めるため、生涯にわたる学びを指し示す「大阪市福祉関係従事者生涯研修体系図」と、これまでの研修受講が記録できるシートがセットになった「福祉・介護職員のキャリアデザインノート 受講履歴管理手帳」を販売しています

(内容)

- A4判・リングファイル
- 人生カレンダー
- キャリアデザインシート(ワークシート編)2ページ
- 大阪市福祉関係従事者生涯研修体系図
- 受講履歴管理ページ(受講履歴シート編)9ページ
- ビニールファイル4枚

発行者: 大阪市福祉人材養成連絡協議会 大阪市社会福祉研修・情報センター

問合せ・申込み先: ☎06-4392-8201 FAX06-4392-8272

✉kensyu@shakyo-osaka.jp



社会福祉思想の先導者・大塩平八郎

—森鷗外歴史小説『大塩平八郎』の言説に関連して—①

樟蔭東女子短期大学名誉教授文学博士 森田 康夫 本稿は三話完結の第1話です。

1913(大正2)年、小河滋次郎が救済事業を指導するために大阪府に招かれたとき、大阪では侠客・小林佐兵衛をはじめ、警察関係者が救済事業の先頭に立ち、また、富豪も救済問題に深い関心を寄せていました。なぜ、これらの関係者が社会福祉に関心を持っていたのでしょうか。本講座では、森鷗外の大塩平八郎を「未だ覚醒せざる社会主義」とする言説を起点に「大塩の乱」前後の歴史的状況から、その意味を初めて説き明かします。



森鷗外が歴史小説『大塩平八郎』を書いたのは、今から約100年前のこと。明治天皇の暗殺を計画したとして、幸徳秋水はじめ、全国の社会主義者や無政府主義者を逮捕・起訴して死刑や禁固刑判決を下した「大逆事件」(1910年・明治43年)が動機となりました。この裁判は、実のところ「暗黒裁判」で、わずか1年足らずの間に12名が処刑されています。

森鷗外は、同小説において、大塩を「未だ覚醒せざる社会主義者」と規定し、ここから日本の社会主義が起こってくると述べています。しかし、私は、大塩は社会主義者というよりも、社会福祉思想の先導者であったと考えます。

1913(大正2)年、後に方面委員制度(今でいう民生委員制度)を導入した小河滋次郎が大阪府に招かれたとき、大阪はすでに貧民街の改善が進み、小林佐兵衛などの侠客が社会福祉事業を行い、警察関係者が社会福祉について先導的な役割を果たしていました。

例えば、明治の終わり頃、難波市警察の署長を務めていた中村三徳は、警察官でありながらも社会福祉の精神を身につけ、毎日新聞で「慈善団」を立ち上げ、今宮には「自強館」を設立するなど、大正から昭和にかけて、社会福祉において大きな役割を果たしています。

さらに今でいう財閥、いわゆる富豪も社会福祉に深い関心を持ち、小河滋次郎は、住友家からは援助の申し出を受けています。警察関係者や財閥が社会福祉に関心を持つことは、日本国家の中心、東京には見られないことでした。

警察関係者や財閥が社会福祉に関心を持つ背景には、大阪は、大名支配の国、領

国ではなかったことがあります。江戸時代、大阪を治めているのは、江戸から天下ってきた官僚です。官僚が大坂城代に来て、そのもとで東町奉行、西町奉行が支配されていました。天下りの役人が、出世しようとする、大阪でお金を蓄え、付け届けを上層部にしなければなりません。また、城代であっても、東町奉行であっても、大阪に派遣されていること自体が官僚のステップであって、大阪の将来に対する責任感はありませんでした。平穏無事であればそれでいい、そのようなスタンスだと考えられます。

大正期の初めに大阪一富山を起点に、大規模な米騒動が起きます。これに対する救済措置として米を廉売します。廉売するための資金を大阪の財界、政界を含めた市民から「義援金」として集めます。莫大な義援金が集まり、軍隊は出動しますが、町民に対しては、米の廉売をして事態の鎮静化をはかりました。

そして義援金で余ったお金は、大阪市と大阪府が折半し、大阪市は、天満に「市民館」というセトルメントを建て、ハードの面から地域福祉というものを考えていく構想に資金を投入します。一方、大阪府のほうは、ソフト面、システムとして方面委員制度を導入します。こうして、米騒動の義援金は分配されます。これらの事業の中心にいるのが小河だったのです。

森鷗外は、大逆事件の不当性を訴えるこの知識人が多い中で大塩平八郎を社会主義に目覚めた、社会主義の源流として小説化した作品を、大正初めに発表するのは、それなりの勇気が要ったはずで、森鷗外は、政府側を気にしながら、暴動当日のわずか一日間の動きに焦点を合わせて、平八郎を中心に人物の行動を淡々と描いています。な

に起こったかはわかりませんが、大塩平八郎の思想や学問についてあまり言及されておらず、深みがありません。そういう意味で、鷗外の作品の中では駄作だと評されてきました。しかし、彼が大逆事件をきっかけに「目覚めざる社会主義思想の持ち主」を小説化したことは、大変意味のあることであったと思います。

鷗外は、歴史小説では伝え足りない分を「付録」で補っています。先ほどお話しした「平八郎の思想は「未だ覚醒せざる社会主義」だということのほかに、もう一つ「平八郎は極言すれば米屋壊しの雄」だと評しています。この大塩の「米騒動の雄」という位置づけに、私には違和感があります。

なぜなら、大塩平八郎は、米屋だけ襲ったわけではありません。行き詰まる窮民たちを救済するために、町方から義援金を募りましたが、東町奉行の圧力がかかり、借りられなくなりました。そこで大塩は、町の有力層も攻撃の対象にしました。また、書籍を全部売って、そして金1朱を1万人に施行札として配っています。

付録には、このほか大逆事件で一網打尽に捕まえられた関係者が無造作にずらっと書いてあります。

鷗外は大塩から「社会主義」が起こっているといっていますが、江戸時代にそういう社会福祉に関心を持った学者が乏しかったのでしょうか。

その中でも、佐藤信淵という人物は大塩とほぼ同じ時代に、膨大な著作を残し、河上肇などは佐藤信淵について、社会主義思想の萌芽、芽生えであるという高い評価をしています。江戸時代には、すでに、何人か思想家に社会主義の芽生えが確かにあったのです。

図書・資料閲覧室からのお知らせ

図書・DVD新着情報



図書紹介

『世界一わかりやすい介護保険の きほんとしくみ 2018-2020年度版』

イノウ 編著 ソシム 2018年

知識ゼロからでも、介護保険制度の基礎と改正のポイントがすっきりわかる!イラストや図を用いて解説されていて読みやすい!



『定点観測 釜ヶ崎[増補版]』

中島 敏 編
東方出版 2018年

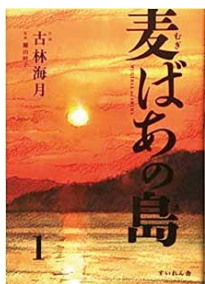
日雇労働者のまち「釜ヶ崎」の変貌と今を伝えるモノクローム写真集。61の撮影ポイントで1925～60年頃、1994～95年、2017年に撮られた写真を掲載する。



『麦ばあの島』全4巻

古林 海月 作・画、蘭 由岐子 監修
すいれん舎 2017年

投げやりな生き方をする若者・聡子と、療養所で暮らすことを余儀なくされた過去を持つ「麦ばあ」との出会いを通して、ハンセン病の人権問題を描いたマンガ。



DVD紹介

『優しい認知症ケア ユマニチュード』全3巻

NHK厚生文化事業団 2018年

●1巻:ユマニチュードって何だろう～入門編(112分) ●2巻:ユマニチュードをやってみよう～実技編(68分) ●3巻:私のユマニチュード～家族の実践編(52分)



『この世界の片隅に』

バンダイビジュアル 129分 2018年

昭和20年、広島・呉。わたしはここで生きている。少女・すずが家族と共に、つつましくも懸命に生きる姿を通して、戦争の恐ろしさ、やるせなさを描いたアニメ映画。



『わたしは、ダニエル・ブレイク』

バップ 100分 2018年

ダニエルが教えてくれたこと一隣の誰かを助けるだけで、人生は変えられる。働けなくなった男性と子どもを抱えたシングルマザーの物語を通して、イギリスの貧困問題を描いた映画。



募集!! あなたの周りに眠っている古本はありませんか?

さまざまな本を自由に読める「古本立ち読みコーナー」に展示する古本を募集しています!

- 本、絵本、マンガなどジャンルは問いません。何冊でもOK!
- 読めないほど傷んだ本の寄贈はご遠慮ください。
- 寄贈していただいた本は返却できません。

募集締切/8月24日(金)

受付場所/大阪市社会福祉研修・情報センター 1階 事務所、2階 図書室

〈古本立ち読みコーナー〉開催場所/1階 エントランス 設置期間/～8月24日(金)15時まで

〈リサイクルブックフェア〉☆「古本立ち読みコーナー」の古本を無料で持ち帰りいただけます!

開催場所/1階 エントランス 開催期間/8月25日(土)10時～31日(金)15時まで



大阪市社会福祉研修・情報センター2階にある「図書・資料閲覧室」では、社会福祉に関する書籍などを無料で貸し出しています



●図書・約17,000冊 ●DVD・約910本 ●雑誌・約27種類

開室時間/月曜日～土曜日(祝日、年末年始は除く)午前9時30分～午後5時

貸出期間/2週間(図書・雑誌等は5冊、DVD・ビデオは5本まで)

利用資格/貸出し期間(2週間)内に、来館しての返却が可能な方

※郵送での返却はできません

※初回の登録時には、住所・名前などの証明ができる本人確認書類(免許証・保険証など)をご持参ください

問合せ先/☎06-4392-8233 お電話で図書・DVDの予約も承ります

生活習慣病予防のため 特定健診を受けましょう!

大阪市国民健康保険では高血圧症や糖尿病などの生活習慣病の予防や早期発見のため、特定健診を実施しています。

私たちの健康をおびやかす、心臓病や脳卒中、糖尿病などの生活習慣病は、ほとんど気がつかないうちに進行するので、身体の状態を確認するために毎年の健診が欠かせません。毎年健診を受け検査値の変化を見ていくことで、しのび寄る生活習慣病に気づき、早めに対応できるのです。

対象となる方には「受診券」をお送りしていますので、ぜひ特定健診を受けましょう!



対 象 者	大阪市国民健康保険に加入されている40歳以上の方 (来年の3月31日までに40歳になる方を含みます)
受診場所	①各区保健福祉センターや地域の小学校等の集団健診会場 ②府内取扱医療機関
検査内容 (基本的な項目)	身長・体重・腹囲・診察・血圧測定・血液検査(脂質・肝機能・ 血糖・腎機能)・尿検査
費 用	無料
必 要 な 物	「受診券」「国民健康保険被保険者証(保険証)」「個人票」

*受診券がお手元に届いていない場合や紛失された場合は、お住まいの区の保険年金業務担当(保険年金・保険)にお問い合わせください。

*75歳以上の方は、後期高齢者医療健康診査を受けましょう。

問合せ▶大阪市福祉局保険年金課(保健事業グループ)

☎06-6208-9876 ☎06-6202-4156

今月の自助具

資料提供
特定非営利活動法人 自助具の部屋

パウチオープナー

主な適応疾患・対象者▶

●指先に力が入らない人や片手の方。

機能・特徴▶

●パウチ容器をしっかりと固定して蓋下部のリングを切り、開封することができます。

使い方▶

- パウチ容器蓋首部をオープナー内の天板の溝に差し込む。
- 上天板を被せてハンドルを握り右に回すと蓋下部のリングが切れる。
- 上天板を跳ね上げてパウチ容器を取り出して蓋を指で回して開ける。



問合せ▶特定非営利活動法人 自助具の部屋

☎☎06-6777-6844 (月・水・金 10:00~15:00)

健康生活 応援グッズ

不安のない入浴を楽しむために

肘可動式
シャワーベンチ



肘ロック付

●シャワーベンチハイバックウィング

背もたれが3段階に調節できるハイバックタイプシャワーベンチ。取外しができる左右独立跳ね上げ式肘かけを採用。座面高は5段階調節可能。ソフト座面。シャワーフック付。

清潔で
お手入れが
楽な



●ユクリアシリーズ 入浴グリップ

皮膚部分にはJISに準拠し、抗菌製品技術協議会(SIAA)の試験方法に基づいて判定された、防かび認証を取得しています。浴槽の種類・形状に合わせた品揃えで、清潔にご利用できます。

はねあげ
座面で
浴槽への
出入りを
安心に



●バスボード はねあげくん

この一台で自立入浴から介助入浴まで幅広い対象者の入浴をサポートします。座面がはねあげられるのでひとりでも安全に座位入浴が行えます。また、またぎ入浴においても転倒リスクを低減します。

問合せ

公益社団法人関西シルバーサービス協会 事務局

〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54

大阪社会福祉指導センター内

☎06-6762-7895 ☎06-6762-7894

http://kansil.jp

URテナントは 「子育て・高齢者支援事業」を応援しています!

UR都市機構では、団地内施設を活用し、
子育て世帯から高齢者の方々が
健康的で安心して暮らせるまちづくりを推進しています。



- ♥ 保育園・幼稚園・小規模保育
- ♥ 学童保育・放課後デイサービス
- ♥ ファミリーゲアステーション・親子カフェ・コミュニティスペース
- ♥ 児童発達支援 など



- ♣ 訪問介護
- ♣ 居宅支援介護
- ♣ 通所介護 など

子育て支援事業者への賃貸料優遇制度

賃貸料最大 50%OFF

高齢者支援事業者への賃貸料優遇制度

賃貸料最大 20%OFF

公共性・社会性の高い子育て支援・高齢者支援事業者の方々には、一般商業施設の賃貸料に対しての減額を実施しています。
※申込後の審査により、賃貸料が割引になる事業かどうか判断させていただいております。※既存店舗との競合業種は、団地によっては受付できない場合があります。

メリットいっぱい

merit-2 権利金・礼金・手数料不要
初期費用が安い!

merit-3 開店までの準備期間も安心
工事前の賃貸料無料

merit-4 面倒な手続きいらず
保証人不要!

merit-5 大型団地内だから
潜在顧客が豊富



独立行政法人 都市再生機構 西日本支社 住宅経営部 経営課
〒536-8550 大阪府大阪市東区森之宮1-6-85 TEL.06-6969-9044

詳しい内容や資料請求は
こちらから▶

URテナント 関西

検索

(広告)



そっと、さっと、あんしんを

サービス介助士

無料 説明会のお知らせ

153,606人のサービス介助士が全国で活躍中!



「おもてなしの心」と「介助技術」の普及を目指したこの資格は、多くの支持をいただき、2018年1月には資格取得者数が累計15万人を超え、広く全国で活躍されています。

●説明会開催日	サービス介助士	防災介助士	認知症介助士
8月6日(月)	15:30~17:00	17:00~18:00	適宜
9月10日(月)	15:30~17:00	17:00~18:00	適宜
10月15日(月)	15:30~17:00	17:00~18:00	適宜

説明会では、サービス介助士について詳しく説明いたします。また、あわせて「防災介助士」「認知症介助士」についても説明いたしますので、個人はもちろん、サービス介助士導入をご検討中の企業・学校ご担当者様の参加もお待ちしております。



●説明会開催場所・お問い合わせ



公益財団法人

日本ケアフィット共育機構 大阪事務所

〒542-0083 大阪府大阪市中央区東心斎橋1-7-30

☎06-6251-6101 ☎06-6251-6102 🌐https://www.carefit.org/

(広告)

大阪市社会福祉研修・情報センター

福祉職員のメンタルヘルス相談

ひとりで悩まずに
まずはお電話を



相談・予約電話

ハローサンキュー

06-4392-8639

✉k-kanri@shakyo-osaka.jp

予約方法 上記番号へお電話ください。

平日 9時30分~21時 土・日 9時30分~17時

お気軽にご相談ください。

疲れやすい、やる気が出ない、眠れない、
対人関係がうまくいかない...など、仕事上の
ストレスなどから生じる**悩みの相談窓口**です。
ご本人だけでなく、同じ職場の上司や同僚の方から
相談いただくこともできます。

●対象

大阪市内在住又は市内にお勤めしている福祉職員

●相談方法

電話または来所(まずは、ご予約ください)

●相談日時

毎週土曜日と第1・3水曜日

土曜日の場合は、祝日も実施(年末年始は休み)

いずれも午前9時30分~午後4時

●相談員

臨床心理士

●相談料

相談無料

秘密厳守

CENTER INFORMATION

大阪市社会福祉研修・ 情報センターのご案内

開館時間／午前9時から午後9時まで(土・日曜日は午前9時から午後5時まで)
図書・資料閲覧室は午前9時30分から午後5時まで(月～土曜日)
休館日／国民の祝日(土・日曜日と重なる場合は除く)、年末年始(12月29日～翌1月3日)

項 目	直通電話番号	お問合せ時間
会議室など利用の問合せ	06-4392-8200	午前9時～午後9時(土・日曜日は午後5時まで) (会議室の申込・お支払いは午前9時30分～午後5時)
研修関係の問合せ	06-4392-8201	午前9時～午後5時
図書・資料閲覧室の問合せ	06-4392-8233	午前9時～午後5時

貸室ご利用の皆様へ

1 空室状況をホームページに掲載しています。

空室状況は、ホームページの「貸室のご案内」→「空室一覧」に、PDFで6か月分掲載。

ウェルおおさか

2 利用申込の受付は6か月前からです。

利用日の6か月前(6か月前の同じ日)から、電話や窓口で予約いただいたうえ、所定の用紙で申し込みください。

受付時間は午前9時30分から午後5時まで

☎06-4392-8200

FAX06-4392-8206

※FAXでの申し込み可能な期間は、利用日の6か月前の午前9時30分から利用日の3日前までです。



■会議室等の使用料

利用できる貸室および料金は、次のとおりです。ご予約は利用日の6か月前からです。

室区分	利用人員のめやす	時間区分	午 前	午 後	夜 間	昼 夜 間
			9:30～12:30	13:00～17:00	18:00～21:00	9:30～21:00
4階	会議室	99	3,800	5,100	3,800	11,400
	会議室 東	45	1,900	2,600	1,900	5,800
	会議室 西	54	2,900	3,800	2,900	8,600
	介護実習室	36	5,700	7,600	5,700	17,100
	演習室	18	1,000	1,300	1,000	3,000
5階	大会議室	144	5,800	7,700	5,800	17,400

(単位:円)

交通／ご来所には【大阪シティバス】【JR】【地下鉄】をご利用ください

大阪シティバス
「長橋二丁目」バス停すぐ
52系統(なんば～あべの橋)

JR大阪環状線・大和路線
「今宮」駅から徒歩約9分
地下鉄・四つ橋線・御堂筋線
「花園町」駅(①・②出口)から徒歩約15分
「大国町」駅(⑤出口)から徒歩約15分

所在地／〒557-0024 大阪市西成区出城2丁目5番20号
設置主体／大阪市
運営主体／(指定管理者)
社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
電 話／☎06-4392-8200(代表)
ファックス／FAX06-4392-8206
U R L／http://www.wel-osaka.jp/

Facebookもチェック



「ウェルおおさか」に広告を掲載しませんか

詳しくはお問合せください…▶大阪市社会福祉研修・情報センター
☎06-4392-8201 FAX06-4392-8272 ✉kensyu@shakyo-osaka.jp

人権啓発キャッチコピー

「テーマ」こどもをめぐる人権

ネグレクト 子どもは愛を 求めている

近藤 緑さん(平成29年度「人権に関する作品募集事業」キャッチコピー 一般の部 特別奨励賞)